

2022年度 国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科「実務経験のある教員等による授業科目」

科目名	担当教員名	配当学年	開講期	必修・選択	講義・演習・実習	単位数	実務経験のある教員による授業科目
英語通訳・翻訳研究Ⅰ	本間 千重子	4	2022年度 前期	選択	講義	2	通訳翻訳業務、旅行業務における経験のある者が、「通訳翻訳研究」の専門科目を担当する。
英語通訳・翻訳研究Ⅱ	本間 千重子	4	2022年度 後期	選択	講義	2	通訳翻訳業務、旅行業務における経験のある者が、「通訳翻訳研究」の専門科目を担当する。
文化資源学入門	桧森 隆一	2	2022年度 前期	選択	講義	2	企業において文化産業のマーケティングの経験のある教員が、文化資源の活用に関する企画を指導する。
現代日本論	福山 悠介	2	2022年度 前期	選択	講義	2	企業での勤務経験のある教員(桧森)が、日本の経済と企業の現状について説明する。
文化資源学(歴史・民俗)	福江 充	2	2022年度 前期	選択	講義	2	富山県の県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識をはじめ、各地の文化財に関する様々な知識及び取り扱い技術なども交え、一般的な日本通史の内容と関連づけて、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
文化資源学(史跡・名勝)	福江 充	3	2022年度 前期	選択	講義	2	富山県の県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識をはじめ、各地の文化財に関する様々な知識及び取り扱い技術なども交え、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
現代アメリカ論	田中 康友	3	2022年度 後期	選択	講義	2	海上自衛隊幹部学校の制服自衛官の教官による講義を行う予定である。
観光ビジネス論	桧森 隆一	3	2022年度 前期	選択	講義	2	企業においてサービス産業のマーケティングの経験のある教員が、サービス産業の一分野としての観光ビジネスのマーケティング、商品企画を指導する。
観光文化計画	桧森 隆一	3	2022年度 後期	選択	講義	2	企業において文化産業及びサービス産業のマーケティングの経験のある教員が、サービス産業の一分野としての文化観光のマーケティング、商品企画を指導する。
国際協力論	田中 康友	3	2022年度 前期	選択	講義	2	日本政府として国際協力を実行しているJICAの役割を理解するためにJICA北陸センター所長および所員による講演を、また青年海外協力隊としてカンボジアでの教育支援を経験を持つ元協力隊員による講演を予定している。
専門ゼミナールⅡ	田中 康友	2	2022年度 後期	選択	演習	2	海上自衛隊幹部学校の制服自衛官の教官による講義を行う予定である。
専門ゼミナールⅢ	桧森 隆一	3	2022年度 前期	選択	演習	2	企業において文化産業及びサービス産業のマーケティングの経験のある教員が、サービス産業の一分野としての文化観光の研究を豊富な事例を基に指導する。
専門ゼミナールⅣ	桧森 隆一	3	2022年度 後期	選択	演習	2	企業において文化産業及びサービス産業のマーケティングの経験のある教員が、サービス産業の一分野としての文化観光のマーケティング、商品企画を指導する。
卒業研究Ⅰ	桧森 隆一	4	2022年度 前期	必修	演習	2	企業において文化産業及びサービス産業のマーケティングの経験のある教員が、サービス産業の一分野としての文化観光の研究を豊富な事例を基に指導する。
卒業研究Ⅱ	桧森 隆一	4	2022年度 後期	必修	演習	2	企業において文化産業及びサービス産業のマーケティングの経験のある教員が、サービス産業の一分野としての文化観光の研究を豊富な事例を基に指導する。
宗教学	福江 充	1	2022年度 後期	選択		2	富山県の県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識をはじめ、各地の宗教史跡・祭祀遺跡などの情報等も交え、一般的な宗教学の内容と関連づけて、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
芸術学	廣田 いずみ	カリキュラムにより異なります。	2022年度 後期	選択	講義	2	美術館・博物館で、美術及び工芸を担当する学芸員として勤務してきた教員が、美学・美術史を概説し、作品の見方・味わい方・魅力を、作り手と受け手の仲介であるという学芸員の視点を加えて、解説する。
PBL入門	福山 悠介	1	2022年度 後期	必修	講義	2	実際に企業に勤める社会人を講師として招く。企業が実際に抱える課題を学生らに課し、学生が提示した解決策について、社会人の観点から審査を行う。
コミュニケーション技法Ⅱ	福山 悠介	3	2022年度 後期	選択	講義	2	企業での勤務経験のある教員(桧森)が社会人に必要なコミュニケーション能力について指導した上で、学生のコミュニケーション能力を評価する。
現代社会と職業	桧森 隆一	2	2022年度 後期	選択	講義	2	大手メーカーで幅広い勤務経験を有する教員が、その経験を生かして学生の職業への理解を深め進路を考えさせる講義を行う。
職業理解とインターンシップ	福山 悠介	3	2022年度 前期	選択	実習	2	企業での実務経験のある教員(桧森)が、現代社会における企業のあり方、またそうした企業で働く社会人のあり方について考えさせる
教職論	板倉 栄一郎	1	2022年度 後期	選択	講義	2	高等学校で約20年間、生徒を指導した経験をもつ教員による指導を行う。実際の教育現場で起こった様々な事例を参考に、学生自身のグループ・ディスカッションを通して、現在の教職の課題及び解決策についてまとめる。具体的には、例えば、児童生徒を見守る保護者への説明責任、チーム学校として教職員の連携が大切であるが実際には仕事の偏りがある点、地域連携は大切だが地域との関わる時間は勤務時間外が多くなる点など、文章化されていない点にまで考えを深めることの大切さを実務家教員の立場から指導する。
教育課程論	板倉 栄一郎	2	2022年度 後期	選択	講義	2	担当教員は高等学校に勤務した経験があり、教育現場での多くの経験を参考に授業を展開する。
英語科教育法Ⅰ	川村 拓也	2	2022年度 前期	選択	講義	2	中高一貫校において中学生・高校生に対する英語指導経験か?ある者か?、その経験を活かして、英語教師として必要な知識・技能を総合的に指導する。
英語科教育法Ⅱ	川村 拓也	2	2022年度 後期	選択	講義	2	中高一貫校において中学生・高校生に対する英語指導経験か?ある者か?、その経験を活かして、学校英語教育の発展に必要な英語教師の知識・技能を総合的に指導する。
英語科教育法Ⅲ	川村 拓也	3	2022年度 前期	選択	講義	2	中高一貫校において中学生・高校生に対する英語指導経験か?ある者か?、その経験を活かして、英語教師に必要な知識・技能を総合的に指導する。
英語科教育法Ⅳ	川村 拓也	3	2022年度 後期	選択	講義	2	中高一貫校において中学生・高校生に対する英語指導経験か?ある者か?、その経験を活かして、学校英語教育における評価について総合的に指導する。
道徳教育論	板倉 栄一郎	3	2022年度 前期	選択	講義	2	高等学校で約20年間、生徒に対して道徳を指導してきた経験から、学習指導要領では学べない実際の指導上の課題や留意点を踏まえた道徳教育の理論と指導法について講義する。また、実際に模擬授業を行い、自分自身が体験的に指導方法を学ぶことで理解を深める。

2022年度 国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科「実務経験のある教員等による授業科目」

生徒・進路指導論	板倉 栄一郎	3	2022年度 前期	選択	講義	2	担当教員は高等学校に勤務した経験があり、教育現場での多くの経験を参考に授業を展開する。
教育相談	原田 克巳	3	2022年度 後期	選択	講義	2	・臨床心理士／公認心理師であり、公立小学校でのスクールカウンセリング、及び大学附属中学校・高等学校での教育相談に従事している教員が、教育相談に係る事案とその対応方法について講義する。
教育実習事前事後指導	板倉 栄一郎	4	2022年度 前期～後期	選択	講義	1	担当教員は高等学校に勤務した経験があり、教育現場での多くの経験を参考に授業を展開する。
教育実習Ⅰ	板倉 栄一郎	4	2022年度 後期	選択	実習	2	現場教員による指導
教育実習Ⅱ	板倉 栄一郎	4	2022年度 後期	選択	実習	2	現場教員による指導
教職実践演習(中・高)	板倉 栄一郎	4	2022年度 後期	選択	講義	2	担当教員は高等学校に勤務した経験があり、教育現場での多くの経験を参考に授業を展開する。
特別支援教育	河野 俊寛	2	2022年度 後期	選択	講義	1	中学校・特別支援学校(知的障害・肢体不自由)の教員(担任・自立活動専任・教育相談専任)の実務経験を活かし、幼児児童生徒の事例を具体的に紹介しながら、特別支援教育について学生が具体的なイメージを持てるような授業を行う。
特別活動と総合的な学習の時間	板倉 栄一郎	3	2022年度 後期	選択	講義	2	担当教員は高等学校に勤務した経験があり、教育現場での多くの経験を参考に授業を展開する。
情報リテラシー	谿 雄祐	1	2022年度 後期	必修	講義	2	シンクタンクで各種案件のデータ分析や、システム構築に携わった実務経験から、業務進行に必要なICTリテラシーを教授します。
海外インターンシップ	桧森 隆一	2	2022年度 後期	選択	実習	1	企業で実務経験のある教員が、海外で働くために必要な意識と能力について指導する。
コミュニケーション心理学	林 洋一	カリキュラムにより異なります。	2022年度 前期	選択	講義	2	スクールカウンセラーとして中学生や保護者・教員のカウンセリングに応じた経験、さらに精神科病院や大学の心理相談機関相談員を務めた経験を有する教員が、事例等を用いて解説する。
障害者・障害児心理学	河野 俊寛	カリキュラムにより異なります。	2022年度 後期	選択	講義	2	特別支援学校(知的障害・肢体不自由)の教員(学級担任・自立活動専任・教育相談専任)、及び公認心理師として大学での学生相談担当の実務経験を活かし、障害児・者の事例を具体的に紹介しながら、学生が具体的なイメージを持てるような授業を行う。
発達心理学	林 洋一	カリキュラムにより異なります。	2022年度 後期	選択	講義	2	スクールカウンセラーとして中学生や保護者・教員のカウンセリングに応じた経験、さらに精神科病院や大学の心理相談機関相談員を務めた経験を有する教員が、事例等を用いて解説する。
青年心理学	林 洋一	2	2022年度 後期	選択	講義	2	スクールカウンセラーとして中学生や保護者・教員のカウンセリングに応じた経験、さらに精神科病院や大学の心理相談機関相談員を務めた経験を有する教員が、事例等を用いて解説する。
学習・言語心理学	河野 俊寛	カリキュラムにより異なります。	2022年度 後期	選択	講義	2	言語聴覚士として特別支援学校の自立活動専任の実務経験、及び公認心理師として大学での教育相談担当の実務経験を活かし、事例を紹介しながら学生が具体的なイメージを持てるような授業を行う。
心理学	仲嶺 実甫子	1	2022年度 前期	選択	講義	2	心理社会的問題、発達障害や精神疾患の特徴、その支援の実際について、担当教員が教育・医療現場での実務経験を踏まえて講義する。
北陸の文化と社会	福江 充	カリキュラムにより異なります。	2022年度 前期	必修	講義	2	富山県の県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識なども交え、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
日本史	福江 充	1	2022年度 後期	選択		2	県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識をはじめ、各地の文化財に関する様々な知識及び取り扱い技術なども交え、一般的な日本通史の内容と関連づけて、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
法学(日本国憲法含む)	佃 貴弘	カリキュラムにより異なります。	2022年度 後期	選択	講義	2	この科目は、実務経験のある教員による授業科目に該当しない。
合計						91	

※色付きは心理社会学科と共通科目

2022年度 国際コミュニケーション学部心理社会学科「実務経験のある教員等による授業科目」

科目名	担当教員名	配当学年	開講期	必修・選択	講義・演習・実習	単位数	実務経験のある教員による授業科目
現代日本論	福山 悠介	2	2022年度 前期	選択	講義	2	企業での勤務経験のある教員(桧森)が、日本の経済と企業の現状について説明する。
文化資源学(歴史・民俗)	福江 充	2	2022年度 前期	選択	講義	2	富山県の県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識をはじめ、各地の文化財に関する様々な知識及び取り扱い技術なども交え、一般的な日本通史の内容と関連づけて、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
宗教学	福江 充	1	2022年度 後期	選択	講義	2	富山県の県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識をはじめ、各地の宗教史跡・祭祀遺跡などの情報等も交え、一般的な宗教学の内容と関連づけて、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
芸術学	廣田 いずみ	カリキュラムにより異なります。	2022年度 後期	選択	講義	2	美術館・博物館で、美術及び工芸を担当する学芸員として勤務してきた教員が、美学・美術史を概説し、作品の見方・味わい方・魅力を、作り手と受け手の仲介であるという学芸員の視点を加えて、解説する。
情報処理入門	谿 雄祐	1	2022年度 後期	必修	講義	2	シンクタンクで各種案件のデータ分析や、システム構築に携わった実務経験から、業務進行に必要なICTリテラシーを教授します。
PBL入門	福山 悠介	1	2022年度 後期	必修	講義	2	実際に企業に勤める社会人を講師として招く。企業が実際に抱える課題を学生らに課し、学生が提示した解決策について、社会人の観点から審査を行う。
現代社会と職業	桧森 隆一	2	2022年度 後期	選択	講義	2	大手メーカーで幅広い勤務経験を有する教員が、その経験を生かして学生の職業への理解を深め進路を考えさせる講義を行う。
海外インターンシップ	桧森 隆一	2	2022年度 後期	選択	実習	1	企業で実務経験のある教員が、海外で働くために必要な意識と能力について指導する。
情報処理入門	谿 雄祐	1	2022年度 前期	必修	講義	1	シンクタンクで各種案件のデータ分析や、システム構築に携わった実務経験から、業務進行に必要なICTリテラシーを教授します。
心理学概論Ⅱ	林 洋一	1	2022年度 後期	必修	講義	2	スクールカウンセラーとして中学生や保護者・教員のカウンセリングに応じた経験、さらに精神科病院や大学の心理相談機関相談員を務めた経験を有する教員が、事例等を用いて解説する。
心理学研究法	仲嶺 実甫子	1	2022年度 後期	選択	講義	2	心理社会的問題、発達障害や精神疾患の特徴、その支援の実際について、担当教員が教育・医療現場での実務経験を踏まえて講義する。
コミュニケーション心理学	林 洋一	カリキュラムにより異なります。	2022年度 前期	選択	講義	2	スクールカウンセラーとして中学生や保護者・教員のカウンセリングに応じた経験、さらに精神科病院や大学の心理相談機関相談員を務めた経験を有する教員が、事例等を用いて解説する。
臨床心理学概論	後藤 和史	1	2022年度 後期	必修	講義	2	本授業の担当教員は、精神科クリニックや大学の一般向け心理相談室での心理臨床、大学における精神的問題を持った学生への対応に悩む教職員に対するコンサルテーション、学生への合理的配慮に関するコーディネート経験がある。これらの経験を参考に授業を進めていく。
障害者・障害児心理学	河野 俊寛	カリキュラムにより異なります。	2022年度 後期	選択	講義	2	特別支援学校(知的障害・肢体不自由)の教員(学級担任・自立活動専任・教育相談専任)、及び公認心理師として大学での学生相談担当の実務経験を活かし、障害児・者の事例を具体的に紹介しながら、学生が具体的なイメージを持てるような授業を行う。
心理的アセスメント	後藤 和史	2	2022年度 後期			2	本授業の担当教員は、精神科クリニックや大学の一般向け心理相談室での心理臨床、大学における精神的問題を持った学生への対応に悩む教職員に対するコンサルテーション、学生への合理的配慮に関するコーディネート経験がある。これらの経験を参考に授業を進めていく。
心理学的支援法	後藤 和史	2	2022年度 前期			2	本授業の担当教員は、精神科クリニックや大学の一般向け心理相談室での心理臨床、大学における精神的問題を持った学生への対応に悩む教職員に対するコンサルテーション、学生への合理的配慮に関するコーディネート経験がある。これらの経験を参考に授業を進めていく。
人体の構造と機能及び疾病	二ノ倉 欣久	1	2022年度 前期	選択	講義	2	実務の経験を有する教員が講義ごとに重要な項目について実務の実際における具体的事例やエピソードを紹介しつつ、講義で学ぶ項目と対応させた講義が行われる。
公認心理師の職責	河野 俊寛	2	2022年度 前期	選択	講義	2	公認心理師として、大学での学生相談、小中学校・高等学校での教育相談、保護者からの相談への対応実績のある教員が、具体例を示しながら講義する。
発達心理学	林 洋一	カリキュラムにより異なります。	2022年度 後期	選択	講義	2	スクールカウンセラーとして中学生や保護者・教員のカウンセリングに応じた経験、さらに精神科病院や大学の心理相談機関相談員を務めた経験を有する教員が、事例等を用いて解説する。
児童心理学	林 洋一	2	2022年度 前期	選択	講義	2	スクールカウンセラーとして中学生や保護者・教員のカウンセリングに応じた経験、さらに精神科病院や大学の心理相談機関相談員を務めた経験を有する教員が、事例等を用いて解説する。
青年心理学	林 洋一	2	2022年度 後期	選択	講義	2	スクールカウンセラーとして中学生や保護者・教員のカウンセリングに応じた経験、さらに精神科病院や大学の心理相談機関相談員を務めた経験を有する教員が、事例等を用いて解説する。
生涯発達心理学	林 洋一	2	2022年度 後期	選択	講義	2	スクールカウンセラーとして中学生や保護者・教員のカウンセリングに応じた経験、さらに精神科病院や大学の心理相談機関相談員を務めた経験を有する教員が、事例等を用いて解説する。
学習・言語心理学	河野 俊寛	カリキュラムにより異なります。	2022年度 後期	選択	講義	2	言語聴覚士として特別支援学校の自立活動専任の実務経験、及び公認心理師として大学での教育相談担当の実務経験を活かし、事例を紹介しながら学生が具体的なイメージを持てるような授業を行う。
神経・生理心理学	二ノ倉 欣久	2	2022年度 後期	選択	講義	2	公認心理師としての神経心理学の実務の経験を有する教員が講義ごとに重要な項目について実務の実際における具体的事例やエピソードを紹介しつつ、講義で学ぶ項目と対応させた講義が行われる。
経営組織論	五味 一成	2	2022年度 前期	選択	対面講義	2	総合電機メーカー・自動車部品メーカーなどに長年従事し、さまざまな組織・力学に接してきた経験を、時に講義に折り込みながら実施する。
北陸の文化と社会	福江 充	カリキュラムにより異なります。	2022年度 前期	必修	講義	2	富山県の県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識なども交え、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
日本史	福江 充	1	2022年度 後期	選択	講義	2	県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識をはじめ、各地の文化財に関する様々な知識及び取り扱い技術なども交え、一般的な日本通史の内容と関連づけて、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
法学(日本国憲法含む)	佃 貴弘	カリキュラムにより異なります。	2022年度 後期	選択	講義	2	この科目は、実務経験のある教員による授業科目に該当しない。
合計						54	

※色付きは国際コミュニケーション学部と共通科目